

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月7日

上場会社名 鈴茂器工株式会社  
 コード番号 6405 URL <http://www.suzumo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 小根田 育治  
 (氏名) 藤田 進一

上場取引所 JQ  
 TEL 03-3993-1371

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	2,736	—	164	—	172	—	100	—
20年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	20.19	—
20年3月期第2四半期	—	—

(注)当社は、平成21年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成20年3月期第2四半期の数値並びに対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	6,344	5,435	85.7	1,096.22
20年3月期	6,458	5,409	83.8	1,091.12

(参考)自己資本 21年3月期第2四半期 5,435百万円 20年3月期 5,409百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	15.00	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,750	—	458	—	458	—	265	—	53.45

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 4,960,000株 20年3月期 4,960,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 2,000株 20年3月期 1,858株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 4,958,070株 20年3月期第2四半期 一 株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月22日公表の連結業績予想は、修正しておりません。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、米国のサブプライム問題に端を発した金融市場の混乱とそれに伴う米国経済の減速に加え、原油価格の高騰などの影響を受け、設備投資の減少や個人消費の低迷が鮮明となり、景気減速傾向が一段と強まりました。

外食産業におきましては、原油価格の高騰による消費者マインドの悪化や店舗の統廃合、出店計画の見直しなどの投資抑制の影響があるなか、一連の食品偽装や消費期限偽装問題により、お客様の安心・安全に対する意識は高く、引続き厳しい経営環境で推移しております。

このような情勢の中、当社グループは、お客様の効率化・省力化にお応えできるよう、スズモフェアの開催やきめ細かい提案を中心とした販売活動を展開いたしました。既存取引先は勿論のこと新規需要先の開拓についても積極的に販売活動を推進いたしました。海外については、為替市場の変動の影響を受ける中、アジア地域、オセアニア地域、ヨーロッパ地域を中心に販売活動を展開いたしました。

加えて、株式会社セハージャパンについては、営業方針および営業施策の徹底とともに顧客満足度を追求した販売管理の整備に着手いたしました。アルコール系洗浄剤・除菌剤等の販売面につきましては概ね順調に推移しております。

この結果、当第2四半期における売上高合計は27億36百万円となりました。製品内訳は、寿司・おむすびロボット等の製品売上高20億66百万円、炊飯関連機器および食品資材等の売上高6億17百万円、その他売上高53百万円となりました。

また、利益につきましては、営業利益は1億64百万円、経常利益は1億72百万円、四半期純利益は1億円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計期間末に比べ1億13百万円減少し63億44百万円となりました。これは主に、有形固定資産が57百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が1億20百万円減少したこと、および現金及び預金が70百万円減少したことなどによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計期間末に比べ1億38百万円減少し9億9百万円となりました。これは主に、買掛金が30百万円、未払金が32百万円、未払法人税等が43百万円、および未払消費税等が22百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計期間末に比べ25百万円増加し54億35百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払74百万円により減少した一方で、四半期純利益により1億円増加したことなどによるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想数値につきましては、平成20年5月22日公表時から変更していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間の、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 税金費用の計算

四半期会計期間に係る法人税等については、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

③ 「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リースについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これに伴う、リース資産計上、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,163,643	2,233,773
受取手形及び売掛金	750,953	871,374
たな卸資産	770,732	780,414
繰延税金資産	92,482	92,347
その他	35,538	18,471
貸倒引当金	△1,158	△1,175
流動資産合計	3,812,191	3,995,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,069,476	1,099,463
土地	766,170	766,170
その他（純額）	184,934	97,117
有形固定資産合計	2,020,582	1,962,751
無形固定資産		
のれん	33,580	37,311
その他	63,334	58,427
無形固定資産合計	96,914	95,739
投資その他の資産		
投資有価証券	129,811	128,986
繰延税金資産	150,818	150,493
その他	145,264	202,010
貸倒引当金	△10,605	△77,010
投資その他の資産合計	415,288	404,480
固定資産合計	2,532,786	2,462,971
資産合計	6,344,977	6,458,177

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	196,755	229,626
短期借入金	27,040	26,442
未払法人税等	83,984	127,833
賞与引当金	130,562	145,725
その他	177,482	232,007
流動負債合計	615,824	761,635
固定負債		
長期借入金	8,280	11,575
退職給付引当金	217,692	204,600
役員退職慰労引当金	68,063	70,429
固定負債合計	294,036	286,605
負債合計	909,860	1,048,240
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	571,200	571,200
資本剰余金	399,850	399,850
利益剰余金	4,437,223	4,411,502
自己株式	△1,183	△1,115
株主資本合計	5,407,090	5,381,437
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	28,026	28,499
評価・換算差額等合計	28,026	28,499
純資産合計	5,435,117	5,409,936
負債純資産合計	6,344,977	6,458,177

## (2) 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	2,736,535
売上原価	1,543,456
売上総利益	1,193,079
販売費及び一般管理費	1,028,193
営業利益	164,886
営業外収益	
受取利息	2,112
受取配当金	1,605
保険解約返戻金	3,224
その他	2,269
営業外収益合計	9,212
営業外費用	
支払利息	355
手形売却損	452
その他	527
営業外費用合計	1,335
経常利益	172,763
特別利益	
貸倒引当金戻入額	3,568
特別利益合計	3,568
特別損失	
有形固定資産除却損	16
特別損失合計	16
税金等調整前四半期純利益	176,315
法人税、住民税及び事業税	76,194
四半期純利益	100,121

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

該当事項はありません。

## 「参考資料」

当社は、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、「参考資料」は、前四半期に係る個別の四半期損益計算書を記載しております。

## (1) (要約) 前四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金額
I 売上高	2,618,466
II 売上原価	1,460,371
売上総利益	1,158,094
III 販売費及び一般管理費	953,369
営業利益	204,725
IV 営業外収益	3,521
V 営業外費用	1,210
経常利益	207,036
VI 特別利益	815
VII 特別損失	—
税引前四半期純利益	207,851
法人税、住民税及び事業税	86,927
四半期純利益	120,923